特集に当って

河崎 俊二

この雑誌が会員諸氏のお手許に届くころには，第2次臨時行政調査会の最終答申が出ているはずである．いまこの原稿を書いている時点では，部会，分科会の報告が全部出そろい，3月中旬の最終答申にむけて本格的審議が行なわれている最中であり，第2臨調の成果に対する最終的な評価はまだ固まっていない．しかしながら，臨調が発足した22カ月前に世間がかけた大きな期待はどうやら裏切られてしまったようである．臨調に結集したはずの「民」の知恵は政治と官僚の壁を破るほど強くはなかったという，新聞の論説の評は残念ながら当っているように思える．

土光敏夫会長の決意が不発に終わった理由については，各方面からさまざまな指摘がなされているが，私は特に情報のギャップを問題にしたい．アメリカの行政改革が学界をはじめとする民間の情報によってリードされたのに対して，わが国の場合，終始，役所の情報に依存したといわれている．既得権の確保と拡大が今日の事態を招いたのであるから，行政側の情報に頼っていたのでは十分な成果が期待できないのは当然である．

オペレーションズ・リサーチ学会においても，行政の問題に興味をもつ研究者が近年ようやくふえ始めたように見受けられるが，数のうえでもその組織化の程度においてもまだ十分とはいえない状況にあると思う．

行政の場合，多くの問題において人間的要素が大きな位置を占め，定式化や計測の困難な状況も少なくない．研究の生産性は当然のこととして低くなり，研究のインセンティブが弱くなるのはある程度やむをえないと思う．加えて，問題解決の際に重要な役割を果たす価値選択の問題が関連学問領域のはざまにあり，うかつに手を出すと火傷をするおそれもないではない．

しかしながら，もし行政改革に失敗し，財政の膨張に歯どめをかけることができなかったならば，財政の穴うめをするために必要な増税の幅は2割ないし3割にもおよぶといわれており，その負担はわれわれに直接かかってくるだけでなく，経済に対しても重圧となり，その間接的影響は計りしれないほど大きいものとなろう．

いま，われわれの目の前には，オペレーション上の障害を数多くかかえた巨大なシステムが横たわっており，構造と操作に関する難問をなげかけてわれわれに挑戦しているのである．かつて軍事問題で冴えをみせたORにとっても不足のない相手である．この際，分野間の境界にこだわらずに多数の方々が積極的に参入されんことを願う次第である．

今回の特集号で原稿をお願いした執筆者の方々は，いずれも永年，行政の問題に取り組んでこられた経験豊かなORマンである．臨調ではふれられなかった新しい視点や方法が示されるものと期待している．論文の価値における不均衡を是正する目的で私に本稿の執筆が依頼されたため，少々力みすぎ，お見苦しい点があったことをお詫びしてご挨拶にかえる次第である．

かわさき しゅんじ 神戸商科大学 経済研究所

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．